

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 3 月 10 日

Table with columns for 事務事業名 (Project Name), 事業区分 (Project Category), 担当 (Responsible Party), 政策体系 (Policy Framework), 予算科目 (Budget Item), and 法令根拠 (Legal Basis). It details the project '桃山中学校区統合準備委員会運営事業' (Mitsuyama Junior High School District Integration Preparation Committee Operation Project).

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (Project Overview) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 (Tasks, Methods, and Procedures). It describes the committee's role in integrating elementary schools and managing the preparation committee.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table showing performance indicators and trends. It includes columns for ①手段 (Methods), ②対象 (Targets), ③意図 (Intentions), and ④-⑥各指標 (Various Indicators) with data for 26th, 27th, 28th, 29th, and 30th years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing the trend of input volume (project costs). It lists various cost items like 国庫支出金 (National Treasury Expenditure), 事業費計 (Total Project Cost), and 人件費 (Personnel Costs) over the years.

Table showing the internal breakdown of project costs (事業費の内訳). It compares actual costs for 27th and 28th years with budgeted costs for 28th and 29th years, categorized by 01報酬 (Remuneration) and 11需用費 (Materials).

(4) 当該年度の実施内容

Table detailing the implementation content for each year: 28年度 (2016), 29年度 (2017), and 30年度 (2018). It lists specific activities like 教育目標の検討 (Review of Educational Objectives) and 閉校式の実施 (Implementation of School Closure Ceremony).

事務事業名	桃山中学校区統合準備委員会運営事業	事務事業No.	30101000932	所属課	学校教育課
-------	-------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	平成26年度の桃山中学校区保護者からの統合に関する要望書提出及び議会での請願書採択を受け、平成27年6月議会において統合準備委員会の関連補正予算が認められ、同年9月「桃山中学校区統合準備委員会」が発足した。全体で35人の委員で組織し、分野ごとに分科会を設け、学校統合に必要な事項の検討を行う。平成27年度は各分科会とも4回の会議を開催した。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	統合準備委員会には、児童生徒の保護者、地域の代表、議会の代表、学校の代表が参加し、活発に意見が寄せられている。27年度は校舎基本設計の年度だったため、特に校舎の設計に関する意見が多く寄せられた。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
目的妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 桃山中学校区統合準備委員会は、適性配置基本計画の方針に沿った形で統合を進めるために組織されたものであり、政策体系と結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 小学校校舎の耐震性や、予測される少子化の進行により適正配置基本計画で定める学校の適正規模が満たせなくなることから、児童生徒の適正な学習環境を維持するために、義務教育の場である小中学校、義務教育学校を整備していくことは必要である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 桃山中学校区には適正配置計画に定める適正規模を満たせない学校(学年)があるため、本事業が進むことにより学校が統合され、適正規模を満たすことができるようになる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 桃山中学校区の統合が出来なくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 統合できる事業は無い。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 委員の報酬及び会議の飲料代が主な予算であり、削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 本事業の対象は桃山中学校区のみだが、適性配置を進めるに当たっては他の各中学校区でも同様の取り組みが必要がある。地域の方々の協力があったため桃山中学校区のみ現在進行しているが、将来的な受益者負担の公平性を考えれば適切である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	27年度は設立年度で、約半年の活動となった。協議しなければならない事項は多いが、校舎の設計が同時進行していたため、校舎設計ワークショップの参加なども活動内容に入ってきたことから当初計画していたよりも協議が少し遅れ気味である。28年度には学校名や校章、通学路等の検討を行う。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
校名、校章のほか、校歌、スクールウェア、通学路、遠方の児童の通学方法など、検討事項が多岐にわたることから、決定しなければならないことが非常に多い。今年度全体会3回、各分科会6回ずつの予算を見込んでいるが、その中でいかに効率良くかつ充分な議論ができるか、事務局側の事前準備が大切になる。基本的には結論になり得る案を複数用意して会議に臨み、そこに委員の意見を取り入れる形で進めたいと考えている。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>